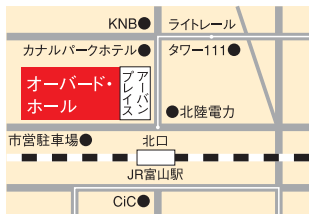


AUBADE HALL CALENDAR

7	24	日	ミュージカル白雪姫「グリム童話」より	【開演】11:00/14:30	【問】富山市民文化事業団	076-445-5610	
	26	火	松任谷由実コンサートツアー2011 Road Show	【開演】18:30	【問】キョードー北陸チケットセンター	025-245-5100	
	4	木	AUBADE サマーフェスティバル 2011 チャリティイベント「ONE HEART BEAT」	【開演】15:30	【問】富山市民文化事業団	076-445-5610	
8	5	金	AUBADE サマーフェスティバル 2011 チャリティイベント「ONE HEART BEAT」	【開演】13:00	【問】富山市民文化事業団	076-445-5610	
	7	日	おまわりさんの演奏とドリルの祭典	【開演】13:30	【問】富山県警察本部	076-441-2211	
	9	火	第18回オーバード・ホール「劇場ツアー」	【開演】10:00/14:00	【問】オーバード・ホール管理課	076-445-5620	
	10	水	第18回オーバード・ホール「劇場ツアー」	【開演】10:00/14:00	【問】オーバード・ホール管理課	076-445-5620	
	11	木	第18回オーバード・ホール「劇場ツアー」	【開演】10:00/14:00	【問】オーバード・ホール管理課	076-445-5620	
	12	金	TOYAMA CITY POP WAVE 2011～FOR THE KIDS LIVE～	【開演】18:30	【問】キョードー北陸チケットセンター	025-245-5100	
	14	日	富山県立呉羽高等学校フィルハーモニー管弦楽団 第27回定期演奏会	【開演】14:00	【問】富山県立呉羽高等学校	076-436-1056	
	19	金	富山第一高等学校 第46回定期演奏会	【開演】18:30	【問】富山第一高等学校事務局	076-451-3396	
	20	土	郷ひろみ 40th Anniversary Celebration 2011	【開演】17:30	【問】キョードー北陸チケットセンター	025-245-5100	
	22	月	AKB48コンサート	【開演】14:45/18:30	【問】サウンドソニック	076-291-7800	
	9	4	日	第38回北日本民謡舞踊富山県大会	【開演】11:00	【問】北日本新聞社事業部	076-445-3355
		7	水	倅田来未コンサート	【開演】19:00	【問】キョードー北陸チケットセンター	025-245-5100
17		土	徳永英明「VOCALIST&BALLADE BEST」	【開演】16:00	【問】キョードー北陸チケットセンター	025-245-5100	
10	23	金	沢田研二LIVE2011-2012	【開演】16:00	【問】FOB企画	076-232-2424	
	25	日	荒木登志乃バレエスタジオ25周年記念公演「3・11鎮魂歌レクイエム」	【開演】15:00	【問】荒木登志乃バレエスタジオ	0766-56-1175	
	1	土	桐朋アカデミー・オーケストラ 第43回定期演奏会	【開演】15:00	【問】桐朋学園富山キャンパス事務局演奏課	076-434-6800	
	6	木	河村隆一コンサート	【開演】18:30	【問】北國新聞社事業局	076-260-3581	
	10	月	松竹特別公演 松竹喜劇まつり	【開演】13:00	【問】富山新聞社営業事業部	076-491-8126	
	15	土	美川憲一コンサート	【開演】14:00/18:30	【問】イッセイブランニング	076-444-6666	
	16	日	ジャマイカコンサート	【開演】19:00	【問】MIN-ON	03-5362-3455	
	22	土	ブラハ国立歌劇場「トスカ」全3幕	【開演】17:00	【問】北日本放送版促事業部	076-432-5555	
	23	日	2011オーケストラフェスティバル	【開演】15:00	【問】富山県オーケストラ連盟事務局	076-441-5411	
	25	火	美輪明宏<愛>L'AMOUR2011	【開演】18:30	【問】イッセイブランニング	076-444-6666	
10	28	金	桐朋学園大学院大学 桐朋アカデミー・オーケストラ 協奏曲のタベ	【開演】19:00	【問】桐朋学園富山キャンパス事務局演奏課	076-434-6800	
	29	土	高橋真梨子CONCERT Vol.35 2011 Soiree	【開演】18:30	【問】サウンドソニック	076-291-7800	

上記は2011年7月5日現在の情報です。変更および追加となる場合があります。



オーバード・ホール (富山市民文化ホール)

〒930-0858 富山市牛島町9-28 TEL076-445-5620

http://www.aubade.or.jp 携帯サイト http://www.aubade.or.jp/m/

交通のご案内 JR利用 JR富山駅下車、北口正面から徒歩2分
航空利用 富山空港よりタクシーで20分 バスで富山駅まで25分
お車利用 北陸自動車道富山IC出口から20分

※オーバード・ホールには駐車場がありません。
近隣の有料駐車場をご利用ください。公共の交通機関のご利用をおすすめします。



発行所 財団法人 富山市民文化事業団 企画制作課 TEL076-445-5610

表紙イラストレーション:唐仁原教久 企画・編集・デザイン:アイアンオー 発行日:2011年7月22日

mitemite

シアターライフを楽しむ情報誌「ミテミテ」by オーバード・ホール

2011
Summer
Vol. 29



◎「エレジー」主演 平幹二郎インタビュー

◎AUBADEサマーフェスティバル2011

◎ミュージカル「ハロー・ドーリー！」

AUBADE HALL



11月公演「エレジー」主演
平幹二郎さんに聞く

Hira
Mikijiro

役が、平幹二郎を選ぶ。

—そもそも、演劇の世界に入ろうと思われたきっかけは？

恥ずかしながらほくは、演劇青年がもつような、芸術的、政治的な意欲をもっていただけではないんですね。広島市に住んでいたんですが、原爆の1年前、6年生のときに田舎に疎開しました。唯一、そこで観られる芸能が映画でした。それで映画監督に憧れていたんですが、数学が苦手なので、普通の大学には行けないと思ってました。そんなとき高校の演劇部の部屋で、俳優座養成所の紹介が載っている雑誌を見つけたんです。この学校

しかないなと思い、養成所を受けると言ったら、なにせ田舎のことですから先生たちにはあきれられましたね。母一人子一人の生活でしたが、母は自分がやってみなければやってみればと言ってくれたので、それで養成所を受けました。

—影響を受けた演出家、または作品についてお聞かせください。

最初は俳優座に11年間お世話になったんですが、いちばん影響を受けたのは主宰者であった千田是也さん。

男がいないという家で育ったせいで、ほくは自分を押し出して行くタイプではないんですね。学校でも手をあげるとときどきして、なぜ、俳優になったかもわからないくらいで。俳優座にいても目立たないようにしてました(笑)。芝居でも目立たない役がつくんですね。でも、心の中ではそういう役ではなく、激しい役をやりたいという気持ちが常にあって。千田先生だけは多くの本質、奥にあるものをなんとなく感じてくださるのか、思いがけない役をつけてくださったんです。

—それはどんな役ですか？

俳優座の代表的な名作「千鳥」という芝居で、市原悦子さんが主役の女の子「千鳥」を演じ、ほくはその父親役に選ばれたんです。農村の古いしきたりのなかで、じっと息をひそめて生きている女の子の芝居、その父親の役が回ってきました。それはとつてもいい役だったので、初めて俳優座の芝居を好きになりました。その後も、千田先生が演出したゲーテの「ファウスト」で、ほくが主役に抜擢されて、千田先生にはいちばん影響を受けました。

—ほかに影響を受けた方はいますか？

俳優座にいるときに、浅利慶太さんにラ・シーヌの「アンドロマック」という芝居に出ないかと誘われました。いまま浅利さんが提唱している「言葉をはっきり発音して日本の現代劇にはない朗唱術をつくりあげていきたい」という野心のもとに始められた芝居です。その中のユリスというギリシアの王子の役をほくがやりまして、それがすごくショッキングで、自分がやりたかったのはこういう芝居だということを強く感じたんです。その翌年、劇団四季が15周年記念で「ハムレット」をやるから出ないか、と浅利さんから誘われました。ただ記念公演に外部の俳優が主役を演じるのはまずい、だから俳優座をやめてくれということになりました。それで、ほくはハムレットではないけれど、「やめるべきか、やめざるべきか」(笑)と悩んだ末、やめるほうを選択して浅利さんと芝居を始めました。浅利さんの芝居に7年間で7本くらい出まして、主役として堂々と舞台上に君臨できるようなものを身につけることができました。ということで、つぎに影響を与えられた演出家は、浅利慶太さんですね。

—その後はどんな出会いがありましたか？

劇団四季で7年くらい経ったころ、今のように輸入ミュージカルが盛んになってきました。ほくは一度だけ

越路吹雪さんと「結婚物語」という二人だけのミュージカルをやったことがあります。しかし、ほくには音楽的な素養がないので、ストレートプレイで生きて行かないといけないと思っていたら、そのときに蜷川幸雄さんと出会いました。三島由紀夫さんの追悼公演「卒塔婆小町」という芝居で、99歳のおばあさんの役をやりまして。それが評判がよくて、それから蜷川さんと約13年くらいありとあらゆる芝居をやりました。海外公演もやりました。今も強く記憶に残っているのはギリシア悲劇の「王女メティア」、それから清水邦夫さんの「タンゴ・冬の終わりに」という芝居です。

—その後、大病をなさっています。

「王女メティア」と「NINAGAWAマクベス」の2本立てで、いよいよイギリスのナショナルシアターへ進出するという年に、ほくは肺がんになったんです。回復が遅くて、出演できなくなりました。その時、ほくは参加できない本当の理由を蜷川さんに言えなかったんです。パニックになるに決まっているんで。だから、ほくが逃げたように彼は思ったんですね。それでちょっと仲が悪くなった。そういうことがあって11年くらい経って、周囲の人たちが壊れたままの関係はもつたいない、修復したらどうかというので、最初にやったのが1998年の「王女メティア」です。その後も「テンペスト」をはじめ何本もやりました。

—舞台以外でも、映画、テレビとさまざまな分野で活躍されていますが、思い出深い作品は？

自分を世間的に有名にしてくれたのは、なんと言っても「三匹の侍」だと思うんですね。ただ、仕事として自分のなかにかつちりしたものが掴めたのは、大河ドラマの「樫の木は残った」です。原作は山本周五郎さんですが、茂木草介さんの台本がすばらしくて、人物像として自分の中に強く残っています。それまでは娯楽的な作品が多かったんですが、シリアスなものをやれるようになりました。

—シェイクスピアの全作上演をライフワークになさっていますが、シェイクスピア作品に惹かれる理由は？

まず、台詞が起伏に富んでいます。いろんな人間のあらゆる感情を雄弁に語っている台本なので、演じがいのある役が多いですね。それに何よりも、あの時代は女優がいなかったんで、男が中心になっている芝居なんです。ほくのような高年になると、大人の年寄りが出る芝居って少ないですから(笑)、シェイクスピアは

来る役をどう演じるかのほうが、 楽しいんですよ。

大人の男の役の宝庫なんです。その意味で今度やらせていただく「エレジー」も、宇野重吉さんにあてて書かれたものですが、おじいさんが主役なので、喜んで出させていただくわけです。

—この「エレジー」への思いは？

今回の「エレジー」は清水邦夫さんの作品ですが、先ほど話した「タンゴ・冬の終わりに」と「夢去りて、オルフェ」もそうで、両方とも20数年前に出していただいています。今回何よりうれしいのは、その清水作品をやれるということですね。ただ、これは宇野先生をイメージして書かれた作品で、ほくは先生のような素朴な役はあんまりやったことがないんですよ。どっか悪い人だったり、クセのあるヤツだったり、すごい悲劇を背負っていたり、激しすぎる役が多かったんです。宇野先生のように座っているだけでいろんなものを表現する、そういう役はやったことがないので、ほくにはとても難しい作品だと思います。これから台本を読み込んで、いろいろ勉強しなきゃいけないなと思っています。ほくもそういうものがやれるかもしれない、そういう年になったということで、また先生とはちがった役をつくれればいいと思っています。

—平さんの「周知の事実」という歌に「男は年をとるほど魅力的になる」という歌詞があります。まさにこの歌のようにいつまでも輝いている平さんですが、何かその秘訣はありますか？

幸いというか不幸というか、ほかの仕事をしたことがなくて、職業として俳優しか知らないんですね。自分ではいわゆる天職かなと思っているので、俳優の仕事をしていると、苦労が苦労でないんですね、楽しみなんです。長い台詞を覚えたりも、自分が演じるための準備なので、いやではないんです。それと生きることに毎日一生懸命なんですね。だから、元気でいられるのは、夢中で生きているからかもしれません。

—いま、演じたい役、共演してみたい俳優さんはいらっしゃいますか？

ほくはこの役をやりたいとか口に出して言わないけれど、運がいいのか来るんですね。

たとえば「樅の木は残った」なんかは、本を読んだ時に絶対やりたいなって思っていたら、なぜかオファーが来ました。「ハムレット」なんかも、俳優座で一期先輩の仲代さんがすでにおやりになったから、あきらめていたんですね。そしたら、浅利さんに「ハムレット」をやらないかと誘われました。来る役をどう演じるかのほうが、楽しいんですよ。この役をほくにやらせてみようと思ってくれたことのほうがおもしろくて、ほくを選んでくれたことも何かの縁だと思うし、それに応えたいと思うんです。共演者の方にしても、興味のある方はいても、どなたかとやりたいと言ったことはあまりないですね。全然知らない人が来てても、いっしょにやることでだんだんその人が好きになっていく、いいところが見つかります。

—最後に富山の印象と、ミテミテ読者にメッセージを。

ほくはずいぶん富山にうかがってますが、食べ物おいしい、酒もおいしいですね。いつか駅前の市場で、昆布ジメなんかを買ったことを覚えています。立山に雪があるのも、東京から行くこととても新鮮ですね。こんどは「エレジー」で行きますが、老年のほのかな色気がある芝居なので、その辺がうまく出せればなと思っています。それを期待して観に来ていただければと思います。



平幹二朗(ひら・みきじろう)略歴

1933年11月21日生まれ、広島県出身。俳優座では千田是也氏に師事。退団を機に浅利慶太演出の「ハムレット」に出演、新境地を開く。その後、蛭川幸雄演出の作品にも多く出演、主な作品は「王女メデア」「近松心中物語」[NINAGAWA マクベス]などがあり、海外でも高い評価を得た。その後、病を経て約10年後、蛭川氏と再会「王女メデア」「テンペスト」などを再演。新作「グリーンクス」など氏とのコンビが復活。一方、自らが主催する(幹の会)で、シェイクスピアの全作品の上演をライフワークとし、現在10作品を数える。

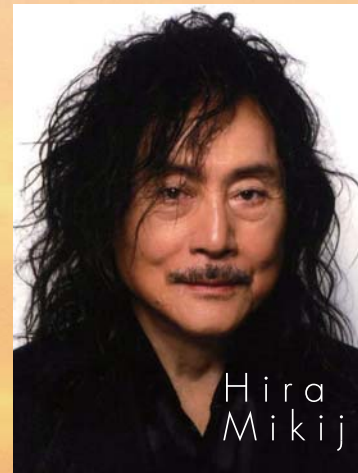
オーバード・ホール開館15周年記念公演
第35回読売文学賞受賞作

エレジー

～父の夢は舞う～

作/清水邦夫 演出/西川信廣 美術/朝倉 撰
2011年11月2日(水)3日(木・祝)
会場/オーバード・ホール

「家族」とは、「老い」とは、「きずな」とは。
今の時代を先取りするような冴え渡る筆力で
清水邦夫が演劇界の重鎮 宇野重吉にあてて書き下ろし、
1983年の初演以来、数々の賞に輝いた「エレジー」を
西川信廣の演出、平幹二朗の主演で四半世紀ぶりにオリジナル脚本でよみがえらせます。
新たな「エレジー」にご期待ください。



Hira Mikijiro



Sakabe Fumiaki



Tsunogae Kazue



Yamamoto Ikuko



Osawa Ken

あらすじ —————
工業高校で生物の教師をしていた平吉(平幹二朗)もすでに定年になり、その弟の右太(坂部文昭)は映画のプロデューサーのようなものをしているらしい。ある日、右太は兄の家の修繕をしにやって来た。そこへ平吉の息子の嫁・塩子(山本郁子)が訪ねて来る。草平(平吉の息子)夫婦は最初は平吉と一緒に暮らそうとしたのだが、塩子との初対面の時にひょんなことがきっかけで言い

争いの喧嘩をしたらしく、結局家を出てアパートで暮らしていた。それにも関わらず草平は平吉の家のローンを払い続けたが、最近草平が肺炎で亡くなり、その後も嫁が払い続けるのはおかしな話だと、嫁の塩子がローンの督促状を届けに来たのだ。平吉は名義替えをしてやるから、今まで通りローンを払い続けて、自分が死んだらこの家をもっていけばいい、という変な提案を塩子にする。塩子の方もついそれを受けてしまうのだが……。

絆を求めて、
家族の心がゆれる。

オペラと『対極』

コシノジュンコ

オペラと衣裳の関係は切っても切れません。私も今までに多くの舞台衣裳を手がけてきました。

1990年、なかにし礼さん演出のスーパーオペレッタ『天国と地獄』（作曲：ジャック・オフエンバック）をはじめ、翌年1991年、モーツァルトイヤーのオペラ『魔笛』（指揮：ウォルフガング・サヴァリッシュ）の舞台衣裳など…。

その『魔笛』の中の『夜の女王のアリア』。これは、真っ赤な髪を火の如く奮い立たせた迫力ある女王としての顔と優しい母としての顔、その女性の二面性、すなわち『対極』の世界が垣間見られる、私が大好きな名曲です。

2010年4月には、沖縄の普天間にある宜野湾で、琉球海炎祭～日本で一番早い夏の花火～が催されました。

これはオペラと花火の斬新なコラボレーションで、テーマはブッチーニ作曲『蝶々夫人』。その花火のデザインの依頼を受けましたが、何せ初めての事なので如何に表現するか…。その手探りが面白く、イメージを大切に組みました。

思いついたのは、日韓共催ワールドカップで盛り上がりを見せた2002年、日韓国民交流年記念として行われた舞台『蝶々夫人』（指揮：

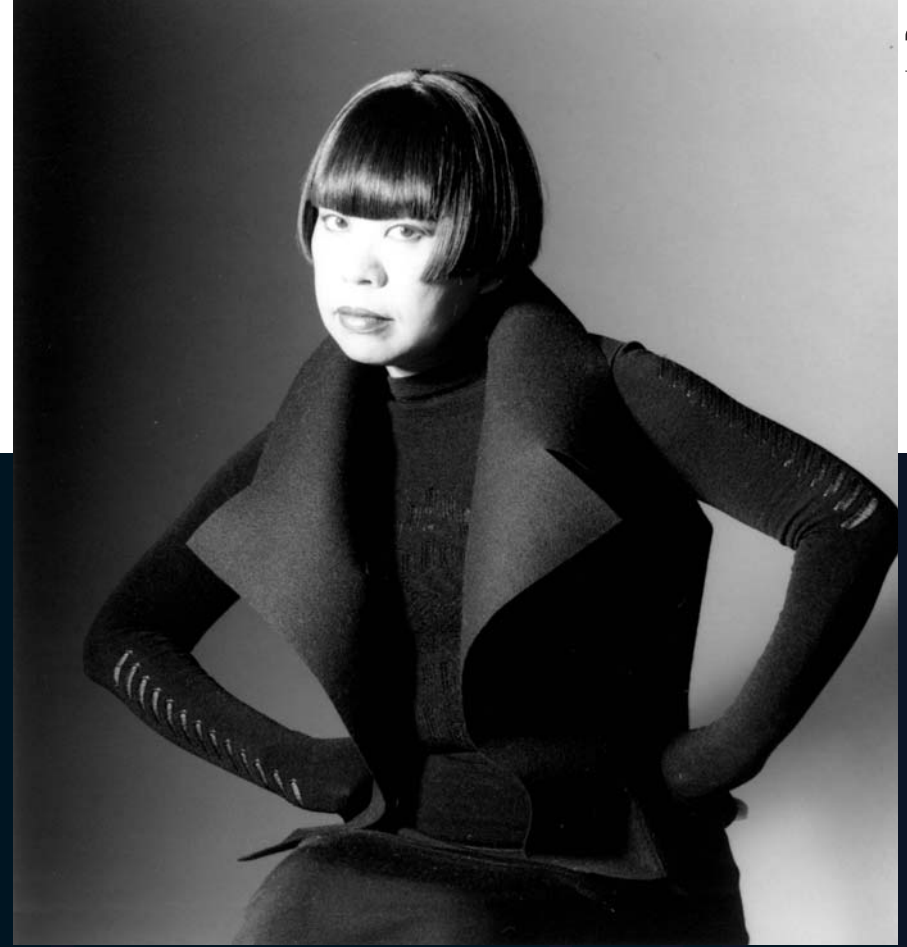
チョン・ミョンフン、演出：ロレンツォ・マリアーニ）で手がけた衣裳です。物語の舞台となる長崎は、空の色と海の色が同化しそうなほど真っ青で、大変美しいのが印象的。そのイメージで、藍染めのジャパンプルーを取り入れた衣裳を作ったのです。そんな経験を元に、『蝶々夫人』の世界をブルーの花火を使って夜空に描いた結果、大成功に終わりました。

今年2011年4月の琉球海炎祭で私がデザインした花火のテーマは、ビゼーのオペラ『カルメン』。

勢いのある『トレアドール／闘牛士』では、闘牛から連想する血の色と男の力強さを表現、セクシーな女の曲『ハバナ／恋は野の鳥』では、ピンクのハートでチャーミングさを表現し、『対極』で『カルメン』の世界をご覧頂きました。それにしても、花火とオペラの相性がこんなに抜群だったとは…。

東日本大震災があった今回、去年とは全く違う心境で当日はチャリティ活動も行いました。先が見えない中、今を大切に強く思います。

つくづくオペラは、『目で聴かせる』ダイナミックでメッセージ性のある音楽。そんなオペラ、そして『対極』の世界は、私のファッションにおいてのテーマであり続ける事でしょう。



コシノジュンコ

大阪府岸和田生まれ。文化服装学院デザイン科卒業。在学中に装苑賞を受賞。1978年よりパリコレクション。85年北京、90年ニューヨーク（メトロポリタン美術館）、94年ベトナム、96年キューバなど、世界各地でショウを開催。2005年中国歴史革命博物館（北京）においてデザイン展開催。06年「イタリア連帯の星」カヴァリエーレ賞受勲。08年ワシントンD.C.でのJapan Festivalにてショウとオープニングプロデュース。同年VISIT JAPAN大使、上海万博PR大使に任命。10年5月中国人民大公会堂にて北京時装表演25周年記念、10月ローマ国際映画祭でJUNKO KOSHINOファッションパフォーマンスショーを開催。オペラやブロードウェイミュージカルの舞台衣裳、マッスルミュージカル衣裳プロデュース、スポーツユニフォーム、インテリアデザインなど幅広く活動している。



衣裳：コシノジュンコ 「蝶々夫人」より
藤原歌劇団・公演
日本オペラ振興会：写真提供
池上直哉：撮影

JUNKO KOSHINO

街に夢と希望と元気を。

この夏、駅北がおもしろい。
AUBADE
サマー
フェスティバル
2011

入場無料

真夏の2日間、屋外会場では、富山駅北広場ブルバールで大道芸・屋台・路上演奏など、また、屋内会場のオーバード・ホールでは、東日本被災地に元気を届けようと市民による手づくりのチャリティイベントが開催されます。街に活気をもたらし、子供たちに大きな夢を与え、美しい自然に囲まれた富山に生きる喜びを実感する夏休みのお祭りです。

日時 8/4(木)・5(金)
 12:00~21:30
場所 オーバード・ホール(ホール内)
 富山駅北ブルバール(屋外)



チャリティイベント (ホール内)



義援金にご協力を



4(木) 15:30~18:30 (予定)
 ◎吹奏楽・園児によるマーチングなど
5(金) 13:00~20:00 (予定)
 ◎ダンス(ジャズダンス、ヒップホップ、創作ダンスほか)
 ◎バンド(ポップス、ジャズ、ロックほか)

富山市内の企業協賛でステージを作り、富山市で活動する多ジャンルのパフォーマンスで東日本へ「熱いエネルギー」で「復興支援」を！集まった募金は「義援金」として被災地に送ります。ひとつひとつの「小さな輪」を富山からの「大きな輪」にしよう。

パフォーマンスで東日本を盛り上げよう！



大道芸 (屋外)

中国雑伎芸術団にジャグリング&アクロバットから、空中エアリアルショーまで、世界で活躍する選りすぐりのパフォーマーが屋外会場のあちこちに登場。



飲食屋台 (屋外)

人気フードのケータリング・ワゴン販売や、飲食屋台がせいぞろい。

■主催：(財)富山市民文化事業団 富山市 ■共催：北日本新聞社 ■協力：北電産業(株)／アーバンプレイステナント会／明日ダイニング(株)／オークスカナルパークホテル富山 ■チャリティイベント協賛：北陸銀行／北陸電力(株)富山市民プラザ／富山ライトレール(株)／(株)インテック／東亜薬品(株) (株)ユニゾーン／(株)新日本コンサルタント／フューチャーシティー ファアボーレ／総曲輪フェリオ
 ■詳しくは <http://www.aubade.or.jp>

TOYAMA CITY For the Kids! POP WAVE 2011

2011年ついに3回目を迎える富山市の夏のイベント『TOYAMA CITY POP WAVE』。今年も『子どもたちに本物のアートに触れさせたい』という意志のもとに開催！昨年よりもさらにパワーアップしたプログラムを是非お楽しみ下さい！！



尾崎豊 覚え書き

8/9(火)~14(日) 10:00~20:00
 ※14(日)は14:00まで

入場無料

◎会場=富山市民プラザ・アートギャラリー(2F)
 今年、来年と20thメモリアルイヤーズとして何かと話題を提供している尾崎豊。彼の秘蔵パネルを中心に、ギャラリーではライブ動画なども上映。OZAKIワールドを体感できます。

OZAKIを語る

8/13(土) [1st] 14:00~ [2st] 19:00~ (※2回公演)

入場無料

◎会場=富山市民プラザ・アートギャラリー(2F)
 尾崎豊の生きざまを初ドラマ化した音楽プロデューサー須藤晃。尾崎豊の才能をいち早く見出し、育て、アーティスト尾崎豊の生きざまに最も近くで触れた濃密な関係を、尾崎豊に心酔する芸人・井上マーが、解き明かします。

Afternoon&Twilight Bossa Nova

8/11(木) [1st] 14:00~ [2st] 19:00~ (※2回公演)

入場無料

◎会場=富山市民プラザ・アトリウム(2F)
 「アトリウムの空間がブラジルになる!!」日本ボサノヴァ界のマエストロ・中村善郎がボサノヴァの名曲を堪能させます。この本物の味わいを自分の耳で確かめて下さい。

KING KONG LIVE 2011

8/10(水) [開場] 19:00 [開演] 19:30

◎会場=富山市民プラザ・アンサンブルホール(4F)
 ◎料金=3,500円(前売り) 3,800円(当日)
 漫才コンビ「キングコング」の単独ライブ開催！！

《チケットインフォメーション》
 FOB金沢 TEL076-232-2424(7/2より発売中)

FOR THE KIDS LIVE 2011

8/12(金) [開場] 18:00 [開演] 18:30

◎会場=オーバード・ホール ○料金=4,000円(前売り) 4,500円(当日)
 ◎出演=Aqua Timez、熊谷と徳、高田梢枝、石崎ゆーい 他

『TOYAMA CITY POP WAVE』の第3回目を締めくくるステージでは、今いちばん勢いのある音楽、そしてタップダンスをみなさんにお届けします。

《チケットインフォメーション》
 ●アスネットカウンター TEL076-445-5511
 ●キョードー北陸チケットセンター TEL025-245-5100(7/3より発売中)



ミュージカルという旅で、 それぞれの愛を探してほしい。

ロジャー・カステヤーン
(演出・振付)



Roger Castellano プロフィール

「オリバー！」および「リトルナイトミュージック」において、ロサンゼルスドラマリーグ批評家賞最優秀振付家部門受賞ほか。現在、南カリフォルニア大学ミュージカル学科講師、カンザス州ウィチタミュージカルワークショップディレクター、南カリフォルニア・リージョナルシアターディレクターとして活躍中。ブロードウェイミュージカルの次代を担う演出家の一人。

—まず、「ハロー・ドリー！」クリエイティブ・スタッフと富山の印象はいかがですか？

日本のみなさんはとっても親切で、温かい。そして、みなさんプロフェッショナルな仕事をします。今回、初めて富山に来ましたが、同じ感想をもちました。でも、富山には、東京とちがったライフスタイルがあります。すばらしい自然や大地の恵みを感じます。そして、オーディションを行った富山市民芸術創造センター！そのような練習施設を市民が気楽に利用できるなんて、世界中の人々が羨ましがるでしょう。

—日本人による日本語の上演は初めてのことで。

すごく驚いています。「ハロー・ドリー！」というミュージカルは、「オペラ座の怪人」のシャンテリアや、「レ・ミゼラブル」の回転ステージや、「ミス・サイゴン」のハリコプターなど、大仕掛けなセットが主流となる以前の、俳優が歌う、踊る、演技する、スペクタブルでパーフェクトなミュージカルでした。役のキャラクターがそれぞれ個性的で愛らしい。ジェリー・ハーマンの音楽、ガワー・チャンピオンの振り付けが素晴らしい。ブロードウェイ・ミュージカルの最高峰です。日本初上演と聞いて、エキサイティングしています。

—日本人スタッフやキャストとのコラボレーションについてはいかがですか？

たぶん外人は私だけです(笑) わくわくしています。芸術監督の奈木さんに今回のプロジェクトを一緒にやろうと言われた時は、とても興奮しました。スタッ

フはトップレベルの方ばかり。オーバード・ホールも画期的な施設、特別なことができるステージですので、ここでしかできないことをやってみたいと思います。

—奈木芸術監督との関係は？

私が奈木さんと出会ったのは、1983年のことです。東京ディズニーランド・グランドオープニングのショーで、出会いました。ショーのアイデアを一緒に考えたり、ミュージカルにかけられる夢を語り合ったりしました。共に創った思い出深いショーがいくつもあります。いつか一緒に本格的なミュージカルをやりたいと願っていた夢が、今回かないます。

—今回はどんなステージにしたいですか？

大きな感動が押し寄せるステージにしたい。ブロードウェイの偉大でトラディショナルな女主人公ドリーのショー、この時代の伝統的な衣装、そして素敵なダンスナンバーがたくさんあります。必ずこの偉大なミュージカルを成功させて、観る人すべてがとても幸福で楽しい気持ちになり、観客がワオーという歓声をあげるようなショーにしたいですね。

—このミュージカルの見どころは？

ずばりタイトルソングの「ハロー・ドリー！」が歌われるシーン。まちががなく、ここです。ずっと昔から歌われて来たとても有名な曲です。なぜならイントロが有名でしょ、ドレスが有名でしょ、階段のシーンが有名で、女性はドリーだけで、まわりはすべて男性のシーンがあります。ドリー役は富山のスター、剣幸さん

が演じます。きっと夢がかなって、天国にいるような感じになると思います。彼女は長い間、この役をやりたいと思いつけていたと聞きましたから。彼女が歌うこのシーンがいちばんの見どころだと思います。

—この仕事で大切にしていることは？

パフォーマンスする人たちみんなのエクスペリエンス(体験)を大切にしています。上演が終わったときに、演技した人たちみんなが、ここに至るまでの長い道のりを振り返り、充実感をもってフィナーレを迎えること。それはグレートジャーニー、ひとつのすばらしい旅と言えます。

—「ハロー・ドリー！」のテーマは何ですか？

この作品は「笑劇」です。広い意味で言えば「喜劇」に入ります。ある一日の出来事が物語になっています。ひとつの結末に向かって、話が進んでいきます。そして、キャラクターたちが、それぞれの愛を見つける。ドリーが、ホレスが、アイリオンが、コーネリアスがみんなが真実の愛を見つける。みなさんも、真実の愛を探してください。どんなに大変であろうと、困難であろうと。いまの自分の居場所を捨てても、自分の真実の愛を見つけてください。限界を超えて、ジャンプしてください。これがこの作品のテーマです。

—ドリーのような女性をどう思いますか？

私は彼女の心がすごく好きです。彼女はどんな状況でも受け入れて、それを乗り越えることができるパワーをもち、自分自身を大切にしています。そういう彼女

のキャラクターにすごく惹かれます。彼女はとっても強い女性です。

—これまでに影響を受けた作品、人物は？

まず、この仕事につくきっかけにもなった人、ジーン・ケリーです。「雨に唄えば」のヒットで知られています。一度、一緒に仕事をすることができました。彼のおかげで、いま私はこの仕事をしています。そして、リチャード・ロジャーズとオスカー・ハマースタイン二世が生み出した、「回転木馬」他数々の名作ミュージカルにも影響を受けました。そして、自分の父です。彼は31年間、小学校の先生でした。一人ひとりの生徒の人生に大きな影響を与え、みんなに愛されました。教える時は、まるでショーを演じているようでした。私は父の生き方を教訓にして、若い人をどう導くか、今の仕事に取り入れています。

—あなたの夢は？

たくさんの人びとにエクスペリエンスを与えたい。今回の「ハロー・ドリー！」も、一步夢に近づきたい機会だと思っています。若者たちが自分たちの夢に向かっていけば、たくさんのお機に恵まれるということ、夢に近づけることに気づいてほしい。

—ミテミテの読者にメッセージをお願いします。

絶対にこのショーを観に来てください。観たこともない世界が待っていますから。私をこんなに楽しくて、喜びにあふれたプロジェクトに招いてくれてありがとうございます。富山のすばらしさに会えることができ、ほんとうに感謝しています。

東京と富山のオーディション会場で、 200人を超える参加者が熱演。

Hello, Dolly!

開演まで
7か月!

エキサイティングな3日間でした。

「東京と富山で、とてもエキサイティングな3日間でした。両会場に参加したみなさんの、コンビネーションを期待します。ダンスではこの人を選ぼうとか、この人はこの役にぴったりだとか、いろんな構想がふくらみました。自分たちの夢をここでつかんでほしい。」(ロジャー・カステャーノ氏談)



オーバード・ホール開館15周年記念公演
名作ミュージカル上演シリーズ 第2弾!

「ハロー・ドーリー！」

2012年2月3・4・5日 (4回公演)

出演/ 剣幸、モト冬樹 ほか
演出・振付/ ロジャー・カステャーノ
音楽監督/ 八幡 茂
訳詞・演出補/ 寺崎 秀臣
舞台美術/ 土屋 茂昭
芸術監督/ 奈木 隆

チケット情報はP.14まで

mite mite

ミテミテ 読者コーナー



メールでの
お便りも
おまちしています。

多数のお便りありがとうございました。

ミ テミテで紹介されていたお店「だるま亭」に、県外から遊びに来ていた友達と先日行きました。どれも美味しく、楽しい夜を過ごしました。特に“カニチャーハン”が忘れられません。さて、次はどんな“おすすめ情報”を届けてくださいますか？期待しています。(高岡市、Y.Y)

コンサートや舞台を観に行く時は、友人と少しお洒落をして出かけることにしています。歳を重ねると、なかなかお洒落して出かける場所がなくなってきましたので、この時ばかりは！と友人と楽しんでいます。たった半日のことですが、いつもとは違った自分になったようで曲がった背中がびんとなります。これからも元気をいただきに、オーバード・ホールに行きますね。(中新川郡、N.Y)

読者投稿をしてプレゼントをもらおう!

今日の
プレゼント

平幹二朗さん
サイン色紙
3名様



mite miteの読者コーナーに投稿をお寄せいただいた方の中から、抽選で3名様に平幹二朗さんのサイン色紙をプレゼントいたします。(当選は発送をもって代えさせていただきます。)

●オーバード・ホールで開催された公演の感想などを自由にお書きください。●オーバード・ホールへのご意見、ご要望などをお聞かせください。●mite mite本誌へのご意見、ご感想をお寄せください。あなたのお名前、ご住所、電話番号を明記のうえ、mite mite編集部まで郵便またはFAX、メールでお送りください。

mite mite編集部 〒930-0858
富山市牛島町9-28 オーバード・ホール内
voice@aubade.or.jp FAX 076-445-5611



ミテミテ 芸術監督日記



先日、本誌特集インタビューで平幹二朗さんにお会いしました。永年、日本演劇界の最前線を走り続けている大先輩である平さんは、あと2時間半後には、主演舞台「ヴェニスの商人」のシャイロック役で大勢のお客様の前で長いせりふをしゃべらなければならないのに、僕たちの質問に一つ一つ丁寧に答えてくれました。俳優として生きていくこと、いつまでも若々しく舞台で輝いていられるという事は、「毎日を生懸命に夢中で生きているからかも知れない」と言われました。大スターでありながら、まったく飾りのない、誠実に舞台に、俳優の仕事に向き合っている平さん、77歳の現在も自分で炊事洗濯をされているとの事。こんな風に年を重ねていけたら素敵だなあ、本物の俳優とは、この方のことを言うのだと思いました。大感動のインタビューでした。

奈木 隆

富山市民文化事業団芸術監督




ミテミテ 編集後記

●「らしさ」という言葉が好きです。自分らしさ。男らしさ。女性らしさ。そもそも「らしさ」とは？英語では「identity」に近いのかな。そのものの特徴、自我同一性、主体性。国・民族・組織などへの帰属意識ということらしい。調べれば調べるほど心に刺さる(笑)オーバード・ホールに来て早3年。劇場らしさって何だろう？オーバード・ホールらしさって何だろう？らしさ探しの真っ只中です。ふと横原敬之さんの歌詞を思い出します。「無くしちやだめなことをいつまでも胸に抱きしめているから…大事なのは“変わっていくこと” “変わらざにいること”」…とても好きなフレーズです。守るべきものは守り、変えつつ変わらず…とても深いと思いませんか？みなさんも『らしさ』を大切に。(編集チヨ)

●他人に言われて嬉しいこと、悲しいことって人それぞれ違いますよね。私は先日、ある方に髪形についてからかわれて非常に腹立たしい気持ちになりました。コミュニケーションで難しいですね。私もつつい自分のペースで会話をしてしまうのですが、今度からは気を付けようと思いました。(きのこ)


8 **12** **金** **TOYAMA CITY POP WAVE 2011**
 ~FOR THE KIDS LIVE 2011~
 ●日時=8/12(金) 18:30開演
 ●会場=オーバード・ホール
 ●料金=[全席指定]前売り4,000円 (当日500円増し)
 ●出演=Aqua Timez、熊谷和徳、高田梢枝、石崎ひゅーい ほか

好評発売中!




8 **24** **水** 市民のためのランチタイムコンサート
ジョイフルコンサート Vol.XII
 ●日時=8/24(水) 11:50開演
 ●会場=富山市民プラザ・アトリウム[2階] ●料金=入場無料
 ●出演=長江麻未[ソプラノ]、野上聡子[ソプラノ]、山本有希子[ソプラノ]、清水香里[ピアノ]、山田美保子[マリンバ]

入場無料!



9 **10** **土** 斬新な音楽が描き出す濃密なオペラ空間
新作室内オペラ「班女」 三島由紀夫作「班女」より
 ●日時=9/10(土) 19:00開演 9/11(日) 14:00開演
 ●会場=富山市民プラザ・アンサンブルホール[4階]
 ●料金=[全席指定]3,500円 学生券2,000円
 ●出演=山本有希子[ソプラノ]、碓井智子[メゾ・ソプラノ]、竹内雅拳[バリトン]
 ●演奏=中村和枝[ピアノ]、増本竜士[フルート]、窪田亮[チェロ]


好評発売中!



山本有希子 碓井智子 竹内雅拳

10 **10** **月・祝** 腹の底から泣いて、笑って、元気になる!
松竹特別公演「松竹喜劇まつり」
 ●日時=10/10(月・祝) 13:00開演
 ●会場=オーバード・ホール
 ●料金=S指定席7,000円 A指定席6,000円 B自由席5,000円 (当日500円増し)
 ●出演=藤山直美、田村亮 ほか


好評発売中!



藤山直美 田村亮


10 **22** **土** 名門歌劇場が贈るブッチーニの傑作
プラハ国立歌劇場「トスカ」全3幕
 ●日時=10/22(土) 17:00開演 ●会場=オーバード・ホール
 ●料金=[全席指定]SS席16,000円 S席14,000円 A席10,000円 B席8,000円 C席5,000円
 ●指揮=ジョルジョ・クローチ
 ●出演=プラハ国立歌劇場管弦楽団・合唱団 ほか

好評発売中!



11 **2** **水** ああ、伝説の舞台がよみがえる
エレジー ~父の夢は舞う~
 ●日時=11/2(水) 18:30開演 11/3(木・祝) 14:00開演
 ●会場=オーバード・ホール
 ●料金=[全席指定]S席6,000円 A席4,000円 学生券2,000円
 ●出演=平幹二朗、坂部文昭、角替和枝、山本郁子、大沢健


会員先行発売日:8月6日(土)のみ
 一般発売日:8月13日(土)



平幹二朗

11 **7** **月** 急遽決定!バレエ界の女王が今、希望を掲げて「ボレロ」を舞う
シルヴィ・ギエム&東京バレエ団 HOPE JAPAN
 ●日時=11/7(月) 18:30開演 ●会場=オーバード・ホール
 ●料金=[全席指定]S席13,000円 A席11,000円 B席8,000円 C席5,000円
 ●出演=シルヴィ・ギエム、東京バレエ団
 ●演目=「白の組曲」(東京バレエ団)、「詩人の恋」(上野水香/高岸直樹)、「ボレロ」(ギエム&東京バレエ団) ほか


会員先行発売日:7月23日(土)のみ
 一般発売日:7月30日(土)



©Kiyonori Hasegawa

11 **18** **金** チェロ界の重鎮 岩崎 洸 登場!
桐朋アカデミー・オーケストラ 特別演奏会
 ●日時=11/18(金) 19:00開演 ●会場=オーバード・ホール
 ●料金=[全席自由]3,000円[桐朋オーケストラ・アカデミー友の会会員・学生・生徒・児童無料]
 ●指揮=アレクサンドロ・フェッラーリ ●チェロ独奏=岩崎 洸
 ●管弦楽=桐朋アカデミー・オーケストラ
 ●曲目=ドヴォルザーク/チェロ協奏曲 口説調 作品104 レスビーク/交響詩「ローマの松」 ほか


一般発売日:8月2日(火)~



アレクサンドロ・フェッラーリ

12 **11** **日** 待望の名作再演、富山公演決定!
AMADEUS(アマテウス) 作:ピーター・シェファア
 演出:松本幸四郎
 ●日時=12/11(日) 13:00/18:00開演 ●会場=オーバード・ホール
 ●料金=[全席指定]S席9,000円 A席7,000円 B席5,000円 学生券2,000円(各公演限定100枚)
 ●出演=松本幸四郎、武田真治、内山理名 ほか

会員先行発売日:8月27日(土)のみ
 一般発売日:9月3日(土)



松本幸四郎

12 **25** **日** 一年を締めくくる歓喜の調べ
第九交響曲「歓喜の夕べ」2011
 ●日時=12/25(日) 18:00開演 ●会場=オーバード・ホール
 ●料金=S指定席4,900円 A指定席4,500円 B自由席3,500円(当日500円増し)
 ●指揮=飯森範親 ●管弦楽=東京交響楽団
 ●合唱=富山県合唱連盟「第九」合唱団
 ●ソリスト=平井香織[ソプラノ]、清水香澄[アルト]、村上太太[テノール]、大西宇宙[バス]

会員先行発売日:9月24日(土)のみ
 一般発売日:10月1日(土)




1 **7** **土** ウィンナ・ワルツの決定版、本物だけがなせる極上の響き
ニューイヤーコンサート2012
ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団
 ●日時=2012/1/7(土) 15:00開演 ●会場=オーバード・ホール
 ●料金=[全席指定]S席6,000円 A席4,000円 学生券2,000円
 ●指揮=ヴァイオリン=ヨハネス・ヴィルトゥナー
 ●管弦楽=ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団

会員先行発売日:9月17日(土)のみ
 一般発売日:9月24日(土)



2 **3** **金** 名作ミュージカル上演シリーズ第2弾!
ミュージカル「ハロー・ドーリー！」
 ●日時=2012/2/3(金) 18:30開演 2012/2/4(土) 13:00/18:30開演 2012/2/5(日) 13:00開演 <全4回公演>
 ●会場=オーバード・ホール
 ●料金=[全席指定]大人券5,000円 ジュニア券2,000円
 ●出演=剣 幸、モト冬樹 ほか

会員先行発売日:10月1日(土)のみ
 一般発売日:10月8日(土)



剣 幸 モト冬樹

●小学生から大学生までが対象。 ●学生券をお持ちの方は公演当日、空席からお席をご用意します。
 ●アスネット会員割引はございません。 ●枚数は限定とさせていただきます。

チケットのお求め | アスネットカウンター | TEL 076-445-5511 | 営業時間 10:00~18:00
 お問い合わせは (オーバード・ホール1階) 月曜日定休(月曜が祝日の場合翌平日休み)
 ※この情報誌刊行時にチケット完売の際はご了承ください。 ※チケット発売初日はカウンターが混み合うことがありますのでご了承ください。
 お得なサービスがいっぱい! アスネット会員へのご入会・お問い合わせもアスネットカウンターまで。